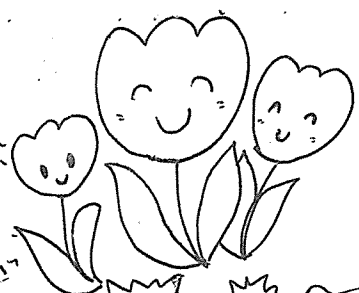


4がっのくもの子の会だより

(H.31.4.1)

新年度がスタートしました。

この子育て交流り育くもの子の会は、平成3年から始め、29年目を迎えることになります。現在の参加者の方は一人二人といかんじではありましたが、その一人の方とも新たな出会いがあり嬉しいことでもありました。この際、引き続き、今年度も続けていきたいと思います。どうぞよろしくお厚幸いたします。



は、7歳までに整えてあげよう。それは、これから長い人生で学び続けていくための土台となる、とても重要なこと。
 <「学力が伸びる小児増進 陰山英男 著」>

～勉強に必要な力の土台を育てるのは今です～

多くの親御さんたちは学力を身につけさせようと、早くから教材を与えたり勉強を教えたりします。その親心には共感しつつ、「方向がちょっとずれているな」と残念に思うことが多々あります。

学力を身につけるためにもっとも重要なのは、何時間勉強するか、難しい問題に取り組むことではありません。では、何が重要なのかというと「集中」です。私が提唱している「百ます計算」も、重要なのは集中してやることです。

～自ら伸びていく力を付けるために～

勉強は学校で教えてくれます。就学前から勉強を教える必要はありません。ただ、いざ勉強が始まったときに、先生が何を言っているのかを理解し、言われた時間内に与えられた課題をやっていくための力、すなわち「勉強するための土台」

～食事の7原則～ (自然に沿った子どもの暮らし(体) 1歳～7歳 大谷 孝)

- ① 少食 (ただし子どもは例外)
- ② 身土不二
- ③ 一物全食
- ④ 食物繊維をとる
- ⑤ 発酵食品をとる
- ⑥ よく噛んで食べる
- ⑦ 楽しく、感謝していただく

(全国から患者が訪れる小児科医の元から楽しく、健康に生きる知識、考え、実践の本です。)



② 身土不二について
 身土不二とは、自分が住んでいる周りの環境(土地)と体には密接な関係があり、同じものであるという考えです。

当たり前ですが、私たちの体は私たちが食べているものからできており、その食べているものは本来、自分が住んでいる場所の土地から生じています。暑い夏には体を冷やす果菜類や果物が採れ、寒い冬には体を温める根菜類ができるというように、その時期にできる作物はその場所に住むものの状態が良くなるように自動的に調節されていくのです。(後略)

◎ 人生の中で最も大切な若い時代に、
人間性を削り取ることを引き替えにして、
親の期待した通りの道を進ませることを、
本当の教育と呼べるでしょうか。

今の大学生たちの中には、
火の起し方や、魚の釣り方など、
自然を相手にした遊びを
ほとんど何も知らない人がおり、
自分の力の本当の尊さを知らない人も
少なくありません。

だから、私は学生たちに
「よく遊び、よく遊び、そしてよく学ぶ」
という話をしています。



。私も母から「遊べ」と言われていた。
ここで、実際に遊び、経験してきたこと
で、その大切さも実感していますので、
子ども達にも「遊ぶことだ」と話したり、
共に遊んでいます。

◎

五感とは、

外の世界を感じ、それを受信する器官です。

五感から受け入れた感覚を、

快と感じるか不快と感じるか、

安全と感じるか不安と感じるか、

そこに感性の力があります。

また、多くの人々と情報を交わしながら、

感情を交流するのも、五感の力です。

五感の働きは、

幼い時にこそ豊かに育つものであり、

人間が生きていく上で非常に重要なものなのです。

(親と子の絆を深める道程
みち
広木克行 著 刊)